



公明党
山本半治

胃がんリスクの軽減

問 胃がんの98%がピロリ菌感染と言われ除菌することが大切ですが、半田市で行っている国民健康保険加入者の内、ピロリ菌検査補助が受けられる40歳から5歳刻みで65歳までの対象者の受診結果をお尋ねします。

答 平成29年度の対象者は2160人で受診者は402人、陽性反応者は11人です。

問 受診率が約19%で低すぎます。受診の大切さを市民にもっと伝えるべきではないですか。

答 しつかりPRに努め5割の方には受けて頂きたいと思えます。

問 更なる胃がんリスクの軽減を計るために、中学生からピロリ菌検査を実施すべきと考えます。

答 除菌治療に副作用があることや、子どもに対する安全性が確保されていらないことから、実施は考えていません。

問 他県、他市町で実施しており、知多市でも平成27年度から蒲郡市も平成29年度から行って

います。中学生の内にピロリ菌が見つければ、家族感染の可能性も分り早期対策が可能です。そうなれば将来的に胃がんリスクの軽減が計られると共に医療費の抑制が期待できます。早期実現すべきと考えます。

答 医師会の総会で確認して前向きに考えていきます。

祖父母世代の子育て支援

問 育児環境・技術が大きく変わり、祖父母世代と子育て世代の子育ての常識にギャップが生まれています。孫育てを応援する「祖父母手帳」を作成し、子育て支援の充実を図るべきと考えます。

答 子育て世代や祖父母世代の声を参考に、来年度発行に向けて、半田市版の「祖父母手帳」を作成します。

問 祖父母世代の力を借りて、地域の子育て力、地域力を高める対策が必要と考えます。

答 本市の誇る地域力を活用して、地域の子育て力、地域力を高める取り組みを拡大します。



創造みらい半田
中村宗雄

半田病院移転に伴うインフラ整備はどうなっているのか

問 新病院の移転先は具体的に半田運動公園のどの位置になりますか。

答 半田運動公園の南端に位置する多目的グラウンドと第4駐車場からさつき園までを含めた約4ヘクタールに建設する予定です。

問 建設場所の代替施設の整備と、大規模災害発生時の自衛隊等の駐留地となる半田運動公園の持つ防災機能は喪失しないのですか。

答 同規模の公園機能を維持するために、隣接する農地を早期に取得しグラウンドを整備します。また、そのグラウンドを使用することで、防災機能の喪失はないと考えています。

問 現半田病院の施設や跡地利用はどうする考えですか。

答 診療棟や病棟などの建物は解体し、その後の跡地の活用方法は検討中です。

問 新半田病院へ半田市北東部からのアクセスに必要不可欠な都市計画道路環状線は新病院開院時期の2025年までに開通できない理由は何ですか。

答 昭和41年都市計画決定された県道阿久比半田線と平面交差をして名鉄の高架で超えていく環状線の計画は、愛知県の安全基準に適合しておらず、現計画どおりに行うことは困難と考えます。

問 安全基準に適合して阿久比半田線の平面交差を諦めるか、名鉄を下越しするか、なぜ出来る方法を考えないのですか。

答 当事者である阿久比町と武豊町の行政と商工会議所も含め、大村知事にも相談し新病院開院までの開通のために全力で努力します。

問 救急搬送時間の短縮や広域救急対応を考えると、救急車の直接乗り入れを可能にする知多半島道路と新半田病院をスマートICでの接続が必要と考えますがいかがですか。

答 スマートICの設置は国の許可を受ける必要があり、半田中央ICからも近いので困難だと考えます。

ぜひ本会議をご覧ください。

- ☆ 本会議の一般質問等の録画映像を動画配信サイトYouTubeにて配信しています。
- ☆ 今号から、議員毎にYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しました。いつでも・どこでも視聴できますので、ぜひご覧ください。
- ☆ 今年度（6月定例会）から、ケーブルテレビCACで放送を開始しています。放送時期は、本会議の翌日や翌々日の午後7時頃からを予定していますが、詳細につきましては本会議の約一週間前に決定しますので、議会事務局（TEL:84 - 0694）までお問い合わせください。

